

福祉文化学科 社会福祉専攻（共通科目）

【沖縄大学の理念と共通科目】 沖縄大学の基本理念である「地域共創・未来共創の大学へ」を実現するために、他者との対話と協働を通じてより良い社会を作っていく力（共創力）を身に付けるための基礎を養成します。

【共通科目の学習・教育目標】 複眼的・総合的思考を可能とする幅広い教養を身に付けるとともに、他者と対話しながら主体的に学ぶことのできる能力（汎用的能力・ジェネリックスキル）を修得します。

○幅広い教養・・・「沖縄関連」「総合」「人間・社会」「自然・環境」の科目群を通じて身に付けます。

多様性を理解・受容できる能力、ものごとを複眼的・総合的に考える能力を身に付け、共創力の基礎となることを目指します。

○汎用的能力・・・「健康関連」「言語関連」「情報処理関連」「キャリア形成・資格対策」「問題発見演習」の科目群を通じて身に付けます。

健康管理能力、日本語・外国語能力、情報活用能力等、どの分野を専攻する上でも必要となる汎用的能力（ジェネリックスキル）を養成することを目指します。

必修

選択必修

区分	学習・教育目標	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次
共通科目	沖縄関連	沖縄の言語	沖縄の自然	沖縄の地理	沖縄の芸能論	沖縄の女性史	沖縄の芸術	
		近代沖縄文学	現代沖縄文学	現代沖縄学入門	沖縄と移民	沖縄戦と記憶の継承(入門)	沖縄戦と記憶の継承(フィールドワーク)	
		沖縄の文化Ⅰ・Ⅱ	沖縄の民俗Ⅰ・Ⅱ	沖縄の歴史Ⅰ・Ⅱ				
	総合	戦後の世界	沖縄大学論	ジェンダーから見る社会	ジャーナリズム論	現代社会のしくみ	ソーシャルインクルージョン入門	
		現代の世界	戦後の日本と沖縄	ジェンダー学	社会福祉とジェンダー	地域活性化システム論		
	人間・社会	現代社会と哲学	言語学入門	心理学入門	現代社会の教育	平和と人権	倫理学入門	
		文学入門	政治学入門	青年期のこころの発達	現代社会論	歴史のみかた	メディア文化論	
		法学入門	社会人類学入門	文化人類学入門	文化社会学	日本国憲法		
	自然・環境	生活の中の数学	統計学	自然科学概論	人類の進化と適応	環境と社会	環境概論	
		教養数学Ⅰ・Ⅱ	統計解析入門	地球の科学と災害	生物保全Ⅰ・Ⅱ	環境マネジメント演習	地域環境計画	
	健康関連	健康運動演習a	健康運動演習b					
			健康運動演習c					
	言語関連	日本語のシステムⅠ	↓英語または中国語のいずれかを選択必修	フランス語入門	ベトナム語入門	ドイツ語入門		
		Oral EnglishⅠ	Oral EnglishⅡ	オーラル韓国語Ⅰ・Ⅱ	ベーシック韓国語Ⅰ・Ⅱ	手話講座入門	スペイン語Ⅰ・Ⅱ	
		Basic EnglishⅠ	Basic EnglishⅡ					
		オーラル中国語Ⅰ	オーラル中国語Ⅱ	日本語ⅠA	日本語ⅡA	日本語Ⅲ	日本語表現Ⅰ	
		ベーシック中国語Ⅰ	ベーシック中国語Ⅱ	日本語ⅠB	日本語ⅡB	日本語Ⅳ	日本語表現Ⅱ	
				※日本語を母語としない学生の場合				
	情報処理関連	情報リテラシーⅠ	情報リテラシーⅡ	情報倫理	情報システム概論	ロボットプログラミング演習	プレゼンテーション演習	
	キャリア形成・資格関連	キャリアデザイン入門			キャリア開発論	キャリア選択論		
		TOEIC(Reading)	TOEIC(Listening)	英検対策Ⅰ・Ⅱ				
		ワープロ資格試験対策講座	表計算資格試験対策講座	プレゼンテーション資格試験対策講座				
	問題発見	問題発見演習Ⅰ	問題発見演習Ⅱ	2年次の基礎演習へとつなげます。				

福祉文化学科 社会福祉専攻（専門科目）

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）
福祉文化学科社会福祉専攻では、124単位の修得と必修等の条件を満たした上で、以下のような能力・資質を涵養し、それらを総合的に活用できる学生に学位を授与するものとします。
（１）幅広い教養と複眼的・総合的思考力（幅広い教養と人間の権利を擁護する力）
幅広い教養を身に付け、人間の尊厳を遵守し且つ権利を擁護して、自らの社会的役割を遂行するための力を獲得します。"
（２）主体的な学習力と他者との協働力
（主体的に学び問題を発見し解決する力）
人びとの多様性を理解し、社会で生起する事象に対し、自らが主体的に問題を発見し解決する力を修得します。
（コミュニケーション能力と自己理解力）
他者の話を傾聴し、受け止め、呼応するコミュニケーション能力を身につける。合わせて、他者と関わることで自己を知り、他者と自分を大切にすることができます。
（３）地域共創力（地域社会における共創力）
共生社会を実現するために、地域における様々な人びとや関係機関等と共創する「地域に根差した福祉活動」のキーパーソンになることができます。
（４）専門的知識・技能の活用力（専門的知識と技術の活用力）
すべての人が身体的・精神的および社会的に健康で文化的な生活を営めるように、社会福祉の価値および知識、技法を習得し活用することができます。

学習・教育目標

日本及び沖縄の歴史と文化の理解の上に、福祉の問題を広く人間の生活や文化から考察する能力を培い、高度福祉社会に対応できる「社会福祉士」および「精神保健福祉士」等の福祉専門職の養成を目指します。併せて社会福祉の専門職に限らず、さまざまな集団・地域において、人のウェルビーイングの実現に取り組むことができる思考力・実践力を備えた人を養成します。

社会福祉士・精神保健福祉士共通科目

社会福祉士指定科目（専門・演習・実習）

精神保健福祉士指定科目（専門・演習・実習）

必修

選択必修

